

島根県益田市種地区

地域づくりのテーマ：地域の特性と自然を生かし、“ひとつの輪”になった「むらづくり」



①地区の概要

【地区の現況】

人口・高齢化率(令和6年12月末時点)

人口：217人 高齢化率：48.8%

【地区の魅力】

- ・中山間地域に位置し、伝統芸能の種神楽と自然を活用(さくら・あじさい・ホタル)したイベントを開催し、人との交流が盛んな地区です。
- ・小学校の跡地利用と、未耕作地の解消を図り、農産加工品の製造販売により、活性化している地区です。
- ・種出身者に「種だより」と「ふるさと便」を発送しています。

【地区の課題】

- ・人口減少・少子高齢化
- ・後継者、担い手不足
- ・鳥獣害対策
- ・高齢者、子ども支援
- ・耕作放棄地の増加
- ・小学校の跡地有効利用
- ・空き家対策

②実施団体の概要

【団体の名称】

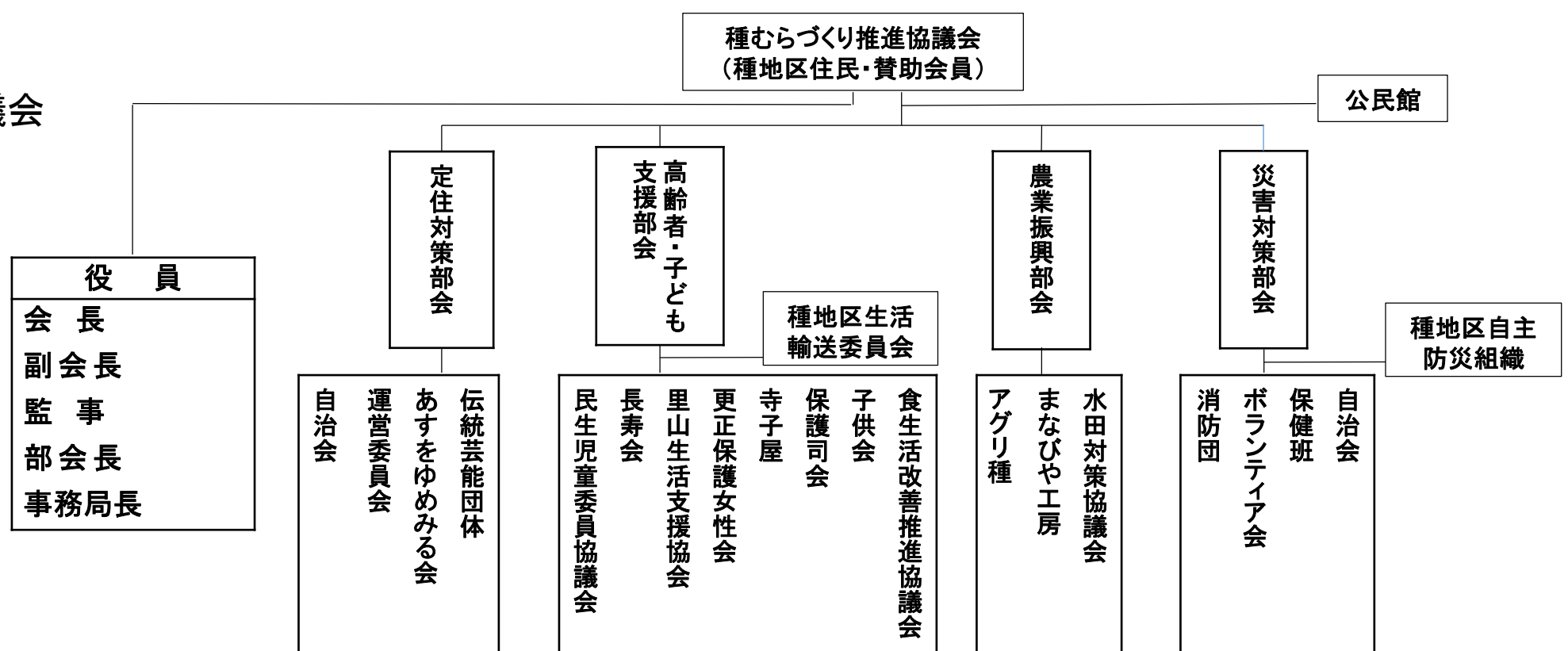
種むらづくり推進協議会

【構成団体、構成員】

右図参照

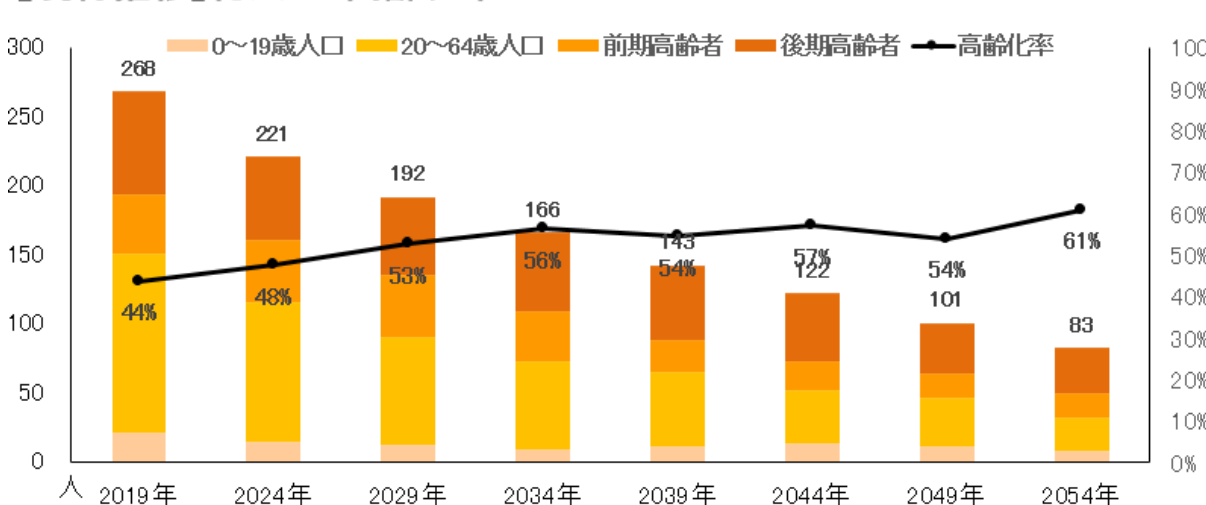
【団体の組織図】

右図参照



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組(概要)

- * 都市部(地区出身者)へ地域の魅力を発信(facebook、種だより、ふるさと便等)
- * 伝統芸能(石見神楽)を活かした交流人口の拡大
- * スポーツ交流会等行事へのふるさと選手の参加を要請
- * 担い手を育成する為、関係人口拡大を目指す
- * 自転車全国大会が開催される場合は支援と関係人口、交流人口の拡大協力
- * 農産加工品の商品開発と販路拡大
- * 農業法人による未耕作地の解消と新規作物の開拓
- * 種ひだまり茶屋(サロン)を利用した拠点づくり
- * 空き家を利活用した、関係人口受入体制づくり
- * アグリ種との連携で、都市部からの農業体験からの交流人口増加を図る
- * 訪問型サービスD、通所型サービスBによる高齢者支援を拡大させている

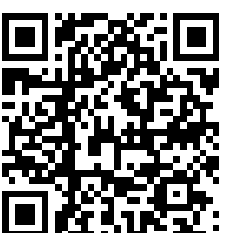
【種むらづくり推進協議会 川本会長メッセージ】

インフルエンザにコロナと感染症が猛威を振るう季節となり、地区行事にも大きな影響が出ています。少しでも早く収束する事を願うばかりです。最近の種地区では、若い人達が地域の消防団に入隊してくれたり、地区行事にも参加する様になりました。世代交代も含め皆で取組む地域となりつつあります。また3月にはバス路線廃止もあり地域交通に対する不安が広がっています。1日でも早い解決に向け、努力していきます。

みんなが共に住み続ける事ができる地域となれる様、頑張る1年となります。

種公民館

facebook



島根県益田市種地区

⑤こんなことが話し合われています。



<農業振興>

- ・ 耕作放棄地が増加していき、比例して農業者が減っている問題を地区でどうするか？を話し合っています。
- ・ 外部団体との連携も模索し、関係・交流人口の取り組みを取り入れ、補助金等をもらいながら農業者育成に努める。



<災害対策>

- ・ 近年、空き家が増加している事を踏まえ、地域住民らで問題と解決を話し合い、問題提起された点を少しずつ解決の話し合いを進める。
- ・ 常に防災意識を高めて頂く様、防災の日にあわせ講師を呼び講習会を開催。



<高齢者・子ども支援>

- ・ 介護予防・日常生活総合事業訪問型サービスDの現状と問題点
- ・ 通所型サービスBについての取組み
- ・ 通院や買い物の要望などと地区ボランティア運転手の予定など調整



<定住対策>

- ・ 近年、空き家が増加している事を踏まえ、地域住民らで問題と解決を話し合い、問題定義された点を少しずつ解決の話し合いを進める。
- ・ 外部団体のリノベーション事業者とタイアップし、民泊制度も視野に勉強していく。

⑥こんな地域づくりを行なっています。



自治組織内の農業振興部会「アグリ種」では、種まなびや工房にて種地区で収穫された「もち米」を使用し、杵つき餅の販売をしています。

市内ではキヌヤさんのご協力の元、店頭販売を行い、商品のPRだけではなく、種地区の紹介もし、幅広く情報を広げています。そして、毎年末には「種だより」を種出身者に配送。そこへ「正月の鏡餅」などの注文書を同封し、全国発送にも展開している。SNSを使用した宣伝へも力を入れていき、今では、毎年注文されているリピーター客も増えたりと、市内の方々だけでなく県外へもアグリ種のお餅やお米等が浸透していった。

高齢者・子ども支援の取り組みは、毎月毎週水曜日には、「高齢者サロン」を開催し、メニューも様々な事を取り入れ、100歳体操だけでなく、地区住民が「義務」でない参加型のサロンを提供しています。今年度でB事業、D事業共に3年目を経過した。「継続は力なり」ではないが、徐々に浸透し始め、地区住民へ声が広がりつつあり、参加者も今では多いときは20人を超える。陽だまり茶屋で講演や体操をするだけでなく、市外へ遠足に行ったり、食事に行ったり、地元高校生や保育園児らとふれあいをしたりと様々な企画で楽しんでいる。今期からは、「食」支援の実証実験を開始しています。

定住に向けての対策は直接は関係ないかもしれませんが、耕作放棄地や空き家が年々増えていっているのが地区の問題になっています。現在、業者を入れて耕作放棄地を利活用する取組みを模索しています。その他には、多様なイベントを企画し、田舎暮らしを目的とした、都会からのヒトの流れを目指しています。



【地域自治組織の所在地】

〒699-3503
島根県益田市下種町1179-1
種むらづくり推進協議会(益田市種公民館内)
TEL:0856-27-1008 (FAX兼)

お問い合わせ先

種公民館

f facebook

